

ハーブだより

2022 第216号



秋が深まってきた。

NHKの「探検ファクトリー」という。日本の優れた工場の人々と現場を、3人のお笑いタレントが訪問するという番組をみた。気づいたのは、製作現場と事務などの壁を、文字通り撤廃した会社が多い事。事務機のすぐ隣で作業しており、「風通しをよくする」と表現していた。これは医療介護の世界にも通じる。

2年後に迫る国の医療介護の改定では、より少ない職員がより介護度の高い利用者さんを支援することがさらに要求される。限られたマンパワーを活かすためには、ケア内容を絞り込み、ICTを利用し、職員同士や職員家族とのコミュニケーションを充実させる工夫が引き続き重要だ。高齢者をケアする家族の力も減り、国の財政(税金)も頭打ちだ。ハーブの皆が知恵を絞って、明るい働き甲斐のある職場を作っていけたらと思う。ハーブの職員さん達なら必ずそれが出来るはずだと信じている。

さて、今秋は雨が少なく早期に冷えるとのこと。つまり、秋の山歩きには最適のようだ。歳時記をめくってみる。

鳥獣のごとくたのしや秋の山 山口青邨
秋の暮いよいよかるくなる身かな 荷兮
行く秋や紙をまるめて遠眼鏡 吉岡桂六
かざす手のうら透き通るもみぢかな 大江丸



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



ハーブ内科 検索



スタッフブログを毎週更新中!

発行元:医療法人ハーブ内科皮フ科
株式会社ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【回想法デイスサービス】

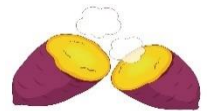
秋のレクリエーションといえば、「芋堀りゲーム」です。芋のつるを露店の宝釣りのように引いて芋に書いてある重さを計算し、重さを競っていきます。今回は「金時芋」と「紫芋」の2チームに分かれて行きました。一人3本引いていき、時には腐った芋が出てきてがっかりしながらも笑ったり、たくさん芋が出てきて歓声が上がったりしながら皆さんに楽しんでいただきました。

芋が食べたいなぁと思ったその日のおやつは、芋羊羹でゲームだけでなく秋の味覚も召し上がっていただけました。

【訪問看護】

昨年度から看護学校の学生さんの訪問看護実習を受け入れることになりました。実習生の受け入れは、ステーションを開設して初めてとなります。実習では、病院との違いや在宅療養の現場を色々な思いを持ってもらえました。

又、学生さんが訪問することで、ご利用者様の一段と楽しそうな表情や、はりきってリハビリを行う姿など、いつもと違う様子も見せていただき、私たち訪問看護スタッフにとっても良い刺激になりました。そして、実習に来られた学生さんが、いつか訪問看護師になってくれたらいいな~と思うのです!!



【くもん学習療法】

ハーブデイスサービスグループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

くもん学習でのコミュニケーションから、旅行や帰省、故郷の思い出をご紹介します。「蒸気機関車は浜松の実家に帰るときに乗ったよ」「釧路で花火大会をやったよ。海から打ち上げるから素晴らしかった」「南紀白浜へ車でいった。帰りは道が分からなくなっちゃって帰って来れないかと思った」「秋田は奥入瀬の方の方へ行きました。男鹿半島の方も周ってきました」楽しかったことを思い出されて、笑顔でお話していただきました。

